

# 知の泉 滋賀の大学 研究最前線

## 滋賀大学 データサイエンス学部

Shiga University  
Faculty of  
Data Science

### 01

# 「情報を科学するデータサイエンス」 データが持つ 力を解き放つ。

膨大なデータから価値を創造する科学「データサイエンス」が注目されている。IoT/ビッグデータ時代の新知識は、情報を「宝の山」に変えていく。

## データから価値を創造する データサイエンティスト

近年の情報通信技術や機器の進化によって、大量のデータが生成、集積されるようになった。いわゆる「IoT/ビッグデータ」時代が到来しており、ビジネス界では、集まったデータを生かせるところが優位になりつつある。Amazonなど欧米のネット企業はその代表格で、データを元にしてクライアントに最適化されたサービスは、多くが知るところだろう。「あなたにおすすめの商品」「これを購入した人は、こんな商品も」。レコメンドの裏側では、膨大なデータが解析され、個人ごとの属性に合わせてメッセージが自動で送られるようプログラムされている。

日本でもデータをビジネスに生かそうとする動きがあるが、欧米に比べると遅れているのが現状だ。その理由のひとつが人材不足。滋賀大学データサイエンス(DS)学部長の竹村彰通教授は「日本

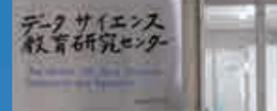
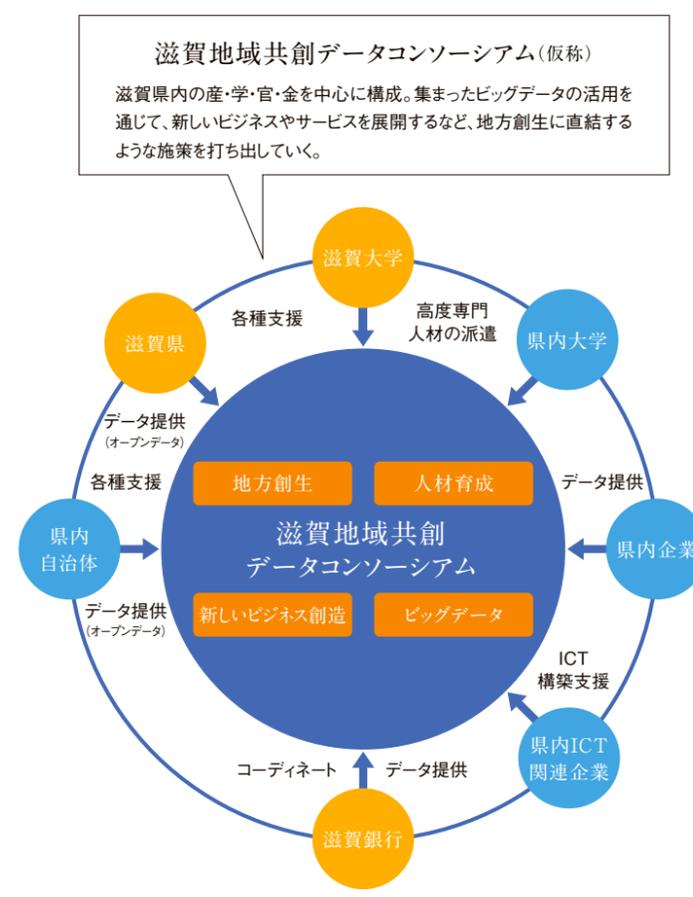
は、データサイエンティストといえる専門家が圧倒的に足りない」と警鐘を鳴らす。あらゆるデータが蓄積されていく今後は、ネット通販に限らず、どの企業、どの分野でもDSの必要性が高まるのは想像に難くない。実際、データを利活用できるデータサイエンティストは、ビジネス界をはじめ、医療、教育、行政などあらゆる領域で求められているという。無秩序に並ぶ膨大なデータ群の中から、隠れた法則性や因果関係を見つけ出すのは容易ではない。裏を返せば、データから独自の知見を引き出すことができれば、新しい価値が生まれる可能性は大きい。

## 地方創生に向けた構想、 滋賀をDSのシリコンバレーに

本質的にグローバルな視野を持つDSだが、滋賀県内では、地方創生を目的にDSを利活用する取り組み「滋賀地域共創デー

タコンソーシアム(仮称)の構想が進められている。これは、県内の企業をはじめ大学、自治体、地域金融といったいわゆる産・学・官・金が連携して保有するデータを持ち寄り、滋賀大学DS学部のノウハウ提供を受けながら、地域の課題解決や新たな価値創

造をめざすというもの。「将来的には、滋賀がDSのシリコンバレーと呼ばれるような地域になれば」と竹村教授。コンソーシアムの取り組みを進めることで、若いデータサイエンティストが集まる土壌をつくり、そこからさらに技術革新が生まれる好循環も期待される。



## データサイエンスを学ぶ データサイエンスを冠する日本初の 専門学部が今春、滋賀大学に誕生

2017年4月、データから価値を創造する「データサイエンティスト」の育成を目的とした日本初の専門学部が滋賀大学においてスタートする。データサイエンティストに求められる基本スキルは、高度なデータ処理能力と分析力。入学後はまず統計学や情報学・コンピュータ科学を中心に学ぶ。理系に思われがちだが、行動履歴などのデータから引き出した知見を応用する先は、マーケティングやファイナンス、企業会計、医療、環境、教育など社会的な領域になる。そのため、DS学部は本質的に文理融合の学問で、高校で文系クラスを選択した生徒でも入学は可能。企業や自治体との連携にも力を入れ、ケーススタディ、フィールドワークなど、ビジネス界のニーズを反映した実践教育を多く採用していることも特徴だ。

竹村 彰通 教授 | DS学部長/DS教育研究センター長  
Message from Professor

## この国の未来を切り拓く若きデータサイエンティストを養成します

DSの面白さのひとつはその幅広さにあります。対象とするデータを限定しないのであらゆる領域に応用ができるのです。現在は人の行動履歴が取れるようになったため、DSの活用先は飛躍的に増えました。データサイエンティストの最大の役割は、何よりも集めたデータから新たな価値を生み出すことです。例えば、大学の隣にある彦根城の観光客を増やしたい場合、高速道路の利用状況を調べ、そこから見える滞在時間をもとに「対策を盛り込んだ観光キャンペーンを打つ」といった結果を得るところまで考えます。

DSはポテンシャルを秘めた学問です。滋賀大学が先陣を切って、データサイエンティストやその教員を増やし、日本のDS学をリードしていきたいと思えます。

## カリキュラムマップ



1学年100名の精鋭データサイエンティストを育成するカリキュラム。統計学と情報学・コンピュータ科学を土台に、実習であらゆる分野のデータを扱う。

**滋賀大学**

〒522-8522  
滋賀県彦根市馬場1丁目1-1

「湖国から世界へ、知の21世紀を切り拓く」をスローガンに、幅広い教養と高度な専門知識やグローバルな視野を養成。2017年4月、日本で初めて統計学を教育・研究の核とする「DS学部」を本部彦根に設置。

